

即興

水窟をく訪りぬ
かきかり推う本六磨

美草く松乃

際たりふと能く茂良

禁路者名美よ子

くく日利系月榮

午時過のあらしお

咲よ市一のを露蝶

曾後くくを夏

めうくたる橋の月

春暁

一日百葉身う千葉窟乃

宴ありさからるも東女北

吾隊は菊乃雲松在る席

就回しして短松の無き入ぬ

能きよゆ中も物ありたれと去

かよは用能事お来りりれ

ぬまを急めしかきと言すの

まき物家

土卵

なまの年一歌々も

なまの女蒼う家